

中間評価	事業名	幼児期子どもをもつ親への児童虐待の予防・啓発事業		実施団体名	CAPおかやま		事業番号	H27-
	岡山市	保健福祉局健康づくり課 母子歯科保健係	土井 佳子	岡山市			事業費	440,000
	団体責任者 役職名氏名	CAPおかやま 代表	山下 明美	連携団体			補助金額	352,000
	記入者名						支出経費 9月末概算	130,000

番号	体制・進捗の評価	当初の目標に対する 現在(H27年9月30日)の状況	⇒ 現在の課題は何か	⇒ 課題に対する今後の対策 (今年度中のいつまでに何を行うか)
1	事業はスケジュールに基づいて実施されていますか？	職員への虐待防止を含む本事業の研修は予定通り実施。 8月または9月ごろより、モデルのセンターで行い、その後全センターで実施の予定であったがスケジュールが遅れ気味となった。(しかし、成果物に対しての現場保健師の意識の高さや意見の多さの表れでもある。)	10月後半より、センターでのパネル等の掲示、とパンフレットの配布開始予定。	最初はモデルセンターで行い、全センターでの実施を考えていたが、スケジュールの変更によって、全センターに同時期からの実施を開始をすることとした。 実際にスタッフが見ながら、確認を進めていく。  またパネルの掲示・カードの配布などをオレンジリボンのフォーラムでもできるように検討し、より多くの人に対しての普及啓発を働きかけることとする。
2	経費は概ね予算どおりに執行されていますか？	おおよそ問題ない。 保健センターの設置できる場所が増え、かつパネルではなくタペストリー型の注文が増えたことから、少し事業費が膨らんだ箇所がある。	約2万円程度の予定外の支出が出ていること。	他の支出分の節約などを行うなど、調整。 予算を超えた場合は団体負担を増やして実施。
3	事業の進捗状況を関係機関等に発信し、積極的に連携を図っていますか？	5月センター会議で各センター長に事業の説明し、合意を図った結果、全てのセンターでの実施が可能となった。その後センターへは随時現地確認し、必要な形態なども含め、検討をすすめることができた。 成果物(パネル・配布カード)現場保健師からのフィードバックも多くいただくことができ、反映することができた。	今後、実際に実施してみて、状況の確認を行っていく必要がある。	パネル・配布カードの配布等を開始し、現場の意見を吸い上げながら、必要な支援内容を整理・検討していく。

事業名		幼児期の子どもをもつ親への児童虐待の予防・啓発事業	実施 団体名	CAPおかやま	事業番号	H27-
4	団体と担当部署間で事業目標を共有し、次年度以降の展開に向けて協議していますか？	今回のパネル・配布カードともに版がつくられており、今後量産することも可能。汎用性の高いツールであるため、今後、波及性を考えながら用途について考えていく。		まだ来年度についての具体的なこれからである。		パネル・配布カードの配布等を開始し、現場の意見を吸い上げながら、必要な掲示や配布の方法等を整理・検討していく。
番号	事業に対する評価	当初の目標に対する 現在(H27年9月30日)の状況		⇒ 現在の課題は何か		⇒ 課題に対する今後の対策 (今年度中のいつまでに何をするのか)
1	パネル	【目標】 ・市内保健センターへの設置を想定して継続して使用できるパネルを作成する。 【現状】 ・現在作成中。現場での掲示は10月中旬以降の予定。		進捗の遅れ(上記「体制・進捗の評価-1」を参照)		最初はモデルセンターで行い、全センターでの実施を考えていたが、スケジュールの変更によって、全センターに同時期から実施開始。
2	配布カード	【目標】 ・健診受診者を主な対象としてわかりやすく汎用性の高い内容とする。 【現状】 ・作成・発行済み。上記のとおり多くの関係者のアドバイスを得て概ね狙い通りの内容となった。		・普及・活用を促進していく。		・健康づくり課や保健センターに協力を依頼し、子育て中の母親や各公共施設への配布に努める。
3	保健師研修	【目標】 ・年度内3回の実施予定。 【現状】 ・7月9日、13日に研修を実施。健診従事者、職員など56名が受講。 ・残り1回は来年1月に実施予定。		・研修を踏まえ、健診での虐待防止、子育て支援の視点での支援を実施できるようフォローをしていく必要がある。		・パネル・配布カードの運用の様子を相互共有し、研修内容をブラッシュアップし、振り返りと次のアクションに備える。
	その他特記事項及びESD・市民協働推進センター等への要望	現 況		課 題		要望・対策 (案)
1	とくになし					